

(3) 各階平面計画

厳粛で機能的な斎場を実現する平面計画

■ 葬家同士の交錯を防止

◎ 待合ゾーンの2ゾーン化

待合ゾーンを左右に分け、左右交互に利用することで、待合ゾーンの混雑度を半減させ、待合廊下での葬家同士の交錯させない調整をしやすくする。

◎ ダブルコリドール

エントランスホールは化粧壁で2分し、2つの通路があるダブルコリドールとする。各葬家が同時移動、交互通行でき、交錯なく移動できる。交錯防止のための葬家の待ち時間がなくなり、スムーズかつ厳粛に儀式を執り行うことができる。

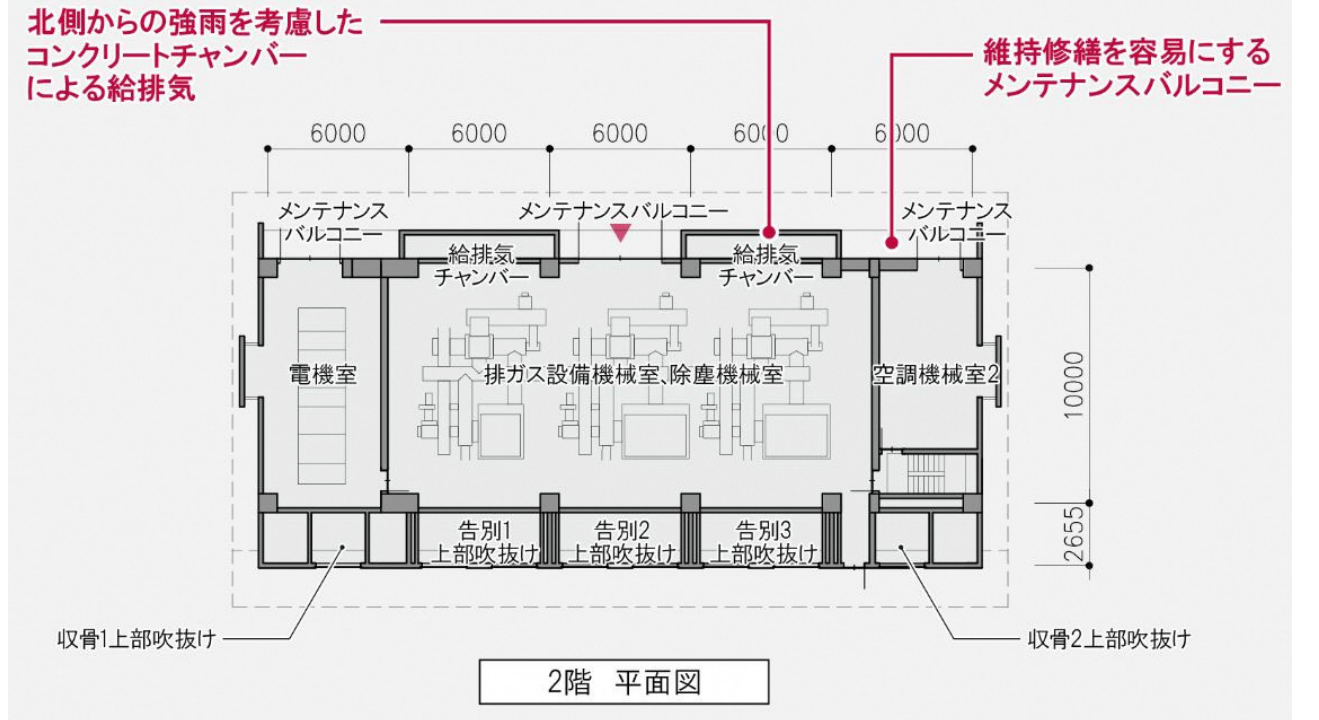
■ 効率的な管理動線

◎ ゾーンを明確に分ける

管理の諸室と儀式のゾーンを明確に分け、炉裏のゾーンと事務室を最短距離でむすぶことで、葬家の移動を妨げることなく効率的な運営を可能とする。

◎ エントランスに隣接した事務室

事務室は窓から車寄せの車両を目視でき、入退場車両の調整がし易いように事務室から車寄せへ直接出入りできる扉を設ける。また、受付からはダブルコリドールが見渡せるようにする。



最短距離で炉裏と事務室
を結ぶ管理専用動線

びょうぶ谷野球場

引き戸を設け火葬件数により稼働
範囲を調整

待合廊下はハイサイドライト
により自然換気、排煙が可能

会葬者の心情に合わせ
一人になれる待合の居場所

左右の待合ゾーンにパントリーを設ける
葬家の移動を妨げることなく飲食の
搬出入が可能

入退場車両の管理がし易いよう
事務室から直接出入りできる扉を設ける

出し入れしやすく管理しやすい位置に
棺運搬車、車椅子置場を設ける

